

☆コース名 保土ヶ谷宿を巡る〈旧東海道の難所・権太坂をくだり保土ヶ谷宿へ〉

☆日 時 2022年4月8日(金曜日)

雨天中止 ※中止の判断は、前日午後7時の天気予報に従いメールでご連絡します

☆集 合 JR 横須賀線 東戸塚駅 午前8時50分受付開始・9時出発

※電車情報：鴨居(8:07)→横浜(8:27着、8:36発)→(JR横須賀線)→東戸塚(8:44)

※手洗いはJR構内で済ませてください。道中はお手洗いが少ないです。

9:05	9:25	9:45	10:00	10:05~20
東戸塚駅	一品濃	一里塚	(焼餅坂)	境木地藏尊
10:45		11:15		11:30
				境木商店街(トイレ・Pあり)
				一権太坂
				(旧東海道松並木)
				上方(京都側)
				見附跡、外川神社
				一旅籠屋(本金子屋)跡
				11:40
				11:50
				12:00
				一本陣(軽部本陣)跡
				一金沢横町道標
				一保土ヶ谷駅西口・解散

☆必要な物 マスク・飲み物・参加費100円

- ☆見 所
- ・保土ヶ谷宿—東海道五十三次の4番目の宿場町
 - ・品濃—一里塚—日本橋から9番目の一里塚となり、保土ヶ谷宿と戸塚宿の間に位置する。
 - ・境木地藏尊—武蔵国(武州)と相模国(相州)の国境にあることから境木と呼ばれた。国境のモニュメントあり。
 - ・権太坂—江戸から西に向かう旅人がはじめて経験するきつい登り坂で、当時は東海道五十三次にも描かれるほど、坂上から眺める神奈川の海の景色は素晴らしかった。
 - ・上方見附跡—保土ヶ谷宿の京都側の出入口、反対側の江戸側の出入口は江戸方見附と呼ばれ、天王町駅のそばにある。お城の場合は、見張り付の城門を見附といい、地名として赤坂見附、四谷見附などが残っている。
 - ・外川神社—江戸時代末の創建、航海安全や虫封じとして信仰されている。
 - ・本陣—大名や旗本、幕府役人など身分が高い者が泊まれる宿、本陣に次ぐ格式の宿として脇本陣があり、保土ヶ谷宿には、三つの脇本陣があった。一般の人は旅籠屋に泊まる。
 - ・金沢横町道標—この地は、旧東海道の東側で金沢・浦賀への出入口にあたり、通称「金沢横町」と呼ばれ信仰や観光の地が枝道にあるため、道標として四基が建立されている。

☆担 当 臼井 090-4934-****
伊東 090-4672-****

第89回のご案内

☆コース名 獅子ヶ谷市民の森・馬場花木園
☆開催月日 5月13日(金曜日)
☆担 当 中村、都築

第90回のご案内

☆コース名 未定
☆開催月日 月日(金曜日)
☆担 当